



北海道大学大学院理学研究科・理学部

広 報

第24号
2003年（平成15年）7月

目 次

[大学院理学研究科長・理学部長就任にあたって](#)

[第3回北海道・東北地区国立大学理学部長会議開催される](#)

[第99回国立10大学理学部長会議開催される](#)

[大学理学研究科・理学部諮問委員会（第1回）を実施](#)

[理学研究科寄附講座「糖鎖精密化学講座」開設式の開催](#)

[日本発生生物学会第36回が開催される](#)

[「21世紀COEプログラム全国7拠点参加によるシンポジウム」開催](#)

[北海道大学大学院理学研究科技術報告（12号）刊行される](#)

[平成16年度大学院理学研究科入学試験について](#)

[平成16年度理学部物理学科第3年次編入学生募集について](#)

[外国の研究機関との共同研究](#)

[海外からの来訪者](#)

[名誉教授称号授与](#)

[学位授与](#)

[新任教官紹介](#)

[訃報](#)

[人事異動](#)

[各種委員会委員](#) PDFファイル88k

[行事予定](#)

大学院理学研究科長・理学部長就任にあたって



大学院理学研究科長
理学部長
岡田尚武

3月の選挙の結果、今年5月から2年間の理学研究科長ということになってしまいました。数十年から百年に一度ともいえる、国立大学の改革に対応しなければならないこの時期の研究科長職は、いつもにも増して重要かつ時間のかかる任務であるのは広く理解されているところであり、研究を志して大学教官になった皆さんのだれもが引き受けたくはなかったでしょう。私も全く同じです。しかし、長田前研究科長が副学長に就任され、研究科長は教授から選ぶことになっている以上、選挙結果を逃げるわけには行きません。

これまで2年間ほど評議員として研究科運営のお手伝いをしてきましたので、執行部の仕事がどのようなものかはある程度分かっているつもりでしたが、いざ研究科長となると、これまで知らなかった科長職に付随する義務と任務の多さは驚くばかりです。大学院重点化から最近の独法化対応まで、ここ数代の研究科長が黙って果たしてこられた重責を思うと頭の下がる思いです。

私は北大で9年間の学生・院生時代を経験しましたが、その後25年間北大キャンパスを離れており、教官としての北大経験はまだ8年程度です。しかし、専攻している学問の性質から国際的パネルに出席する機会があり、最近では国際ルールで行われる会議の議長も勤めている経験から、日本の大学で伝統的に行われてきた教授会や各種委員会の運営方法については疑問を抱く点がいくつかあります。

そこで、本研究科でも議長を務める立場になったのを機会に、研究科の将来の国際化に備える意味もあって、議事運営のやり方を少し変える試みを提案しました。研究科構成員はすでにご存じのことですが、その内容は、1)重要会議の議事内容を迅速に全教官メーリングリストで知らせること、2)議事運営を大きく阻害しない範囲で少数意見を尊重するため、採決による議決をある程度広く取り入れること、の2点です。トップダウンでの意志決定を重視する国立大学独法化が目前に迫っている現在、研究科の全構成員が重要な情報を共有し、自らが考えて多様な意見を持つことが、大学としての健全な教育・研究環境を保つうえで重要と考えるからです。

最近の政府の姿勢は、大学で開発された技術を民間に移転しての社会貢献を重視し、研究費についても、従来の「薄く広く」から実用化に直結しそうな分野への重点的な配分に傾いています。大学をこのように利用することはある程度理解できますし、先進各国でも広く行われていることですが、あまりにも近視眼的な研究費配分が過ぎると、理学研究科の多くの研究室で行われているような基礎研究の分野を枯渇させ、中長期的には社会に役立つ科学技術の枯渇にもつながる心配があります。先に行われた10大学理学部長会議でも、同様な懸念を話し合い、基礎研究の重要性を訴えるアピールを行ってゆくことにしました。

その意味で、この6月に理学研究科の構成員が中心となってヒアリングを受けた「21世紀COE」の2つの申請（数学分野への申請と地球惑星科学と生物科学の研究者の組み合わせによる学際分野への申請）は、産業に直結する可能性のあまりない基礎研究の分野であり、これが採択されれば、バランスのとれた理学研究科の発展に役立つと期待されます。また、この採択結果にかかわらず、理学研究科教官が中心になって、この2年間で学内審査を通った6つの申請提案をまとめ上げたという事実は、理学研究科の学問的バイタリティを示したものと評価してもよいでしょう。

このように多難な時期ではありますが、理学研究科構成員が個々の違いを認め合いながらも力を合わせ、より良い理学研究科へと発展するようご協力いただければ幸いです。

第3回北海道・東北地区国立大学理学部長会議開催される

第3回北海道・東北地区国立大学理学部長会議が4月24日（木）、本学部の当番により本研究科応接室で開催されました。

本会議では、議題「理学研究科・理学部の教育・研究体制の将来像について」、キーワードとして（1）研究科・学部の組織再編成（2）新学習指導要領による学生の受入（3）21世紀COEプログラムについて、各大学における取り組みと検討状況について情報交換が行われました。

第99回国立10大学理学部長会議開催される

第99回国立10大学理学部長会議が5月22日、23日の両日、名古屋大学の当番により名古屋市で開催されました。

はじめに、出席した文部科学省高等教育局の吉村泰治専門教育課長補佐から、「大学の再編統合、法人化、第3者の意見を取り入れた評価システム」等について、資料に基づき説明の後、意見交換が行われました。

次いで、議題(1)「科研費の施策の変更の動向について(民間の研究者も交付対象に)」、(2)「法人化後の大学設置共同利用研究所のあり方について」、(3)「中期目標・中期計画への取り組みとの関連で、法人化後の理学部・理学研究科の将来構想に関する意見及び情報交換」、(4)「社会における基礎科学研究に対する認知度を高める方策について」、(5)「教官の任期制について」、(6)「専門基礎教育(低学年専門教育)に対する取り組みについて」、(7)「大学の知的財産について」、承合事項「修学指導について」の活発な意見交換、情報交換が行われました

大学院理学研究科・理学部諮問委員会(第1回)を実施

本年4月16日(水)ファカルティハウス「エンレイソウ」第1会議室において、大学院理学研究科・理学部諮問委員会(第1回)が実施されました。出席者は6名の諮問委員、および長田理学研究科長をはじめ評議員・専攻長・専攻委員・将来計画委員・21世紀COE拠点リーダーなど理学研究科教官でした。諮問委員は次の方々です:

- (1) 塩谷 喜雄 氏 (日本経済新聞社・論説委員会論説委員)
 - (2) 鈴木 武 氏 (味の素株式会社・代表取締役副社長)
 - (3) 丸山 瑛一 氏 (理化学研究所フロンティア研究システム・システム長)
 - (4) 毛利 衛 氏 (日本科学未来館・館長)
 - (5) 吉留 康夫 氏 (電通ヤング・アンド・ルビカム株式会社・代表取締役社長)
 - (6) 若松 澄夫 氏 (国際交流基金・常務理事)。
- (50音順)

長田理学研究科長は、「本諮問委員会は、一方的に諮問委員の方々から意見をうかがうのではなく、双方の意見交換をする場にしたい。」という趣旨説明を行われた後、理学研究科の概要を説明されました。特に、教育・研究の充実・整備のための取り組みや、理学研究科研究支援のための取り組み、さらには平成14年度の外部資金等の状況、21世紀COEの申請・採択状況について詳細な説明をされました。

次に、各専攻や施設に関わる活動状況についての説明がありました。特に、各専攻における教育・研究の特徴、将来構想、現在抱えている問題等が提示されました。説明者は、以下に示した現在実施中および申請中の21世紀COEの拠点リーダーや専攻長(専攻委員)でした: 数学専攻(小澤教授)、物理学専攻(熊谷教授)、化学専攻(佐々木教授)、生物科学専攻(山下教授)、地球惑星科学専攻及び附属地震火山研究観測センター(岡田(尚)評議員、笠原教授)、総合宇宙理学(仮称)(藤本教授)。最後に長田研究科長から、理学研究科を取り巻く新しい教育・研究体制、および北大全体で今取り組んでいる学院・研究院構想についての説明がありました。これらの説明に対して、逐次、諮問委員の方々から活発な質問や提案がありました。たとえば、「理学をどのように考えているのか?世の風潮に従って直ぐに役立つ研究をしていればそれで良いのか?」とか「外国人留学生の受け入れは活発か?」など、教官側も常に頭を痛めていることであり、説明担当の教官以外からも、多くの意見の応酬が行われました。本諮問委員会の趣旨を反映した緊張感の中にも、和やかな雰囲気での議論が続き、予定時間より大幅な時間延長となりました。

同日の夜、札幌アスペンホテルにて立食形式の懇親会が開かれました。多くの会議がそうであるように、諮問委員の方々からの本音が、この懇親会の席ではっきりと出てきました。そこでのご発言にはとても強烈なものがありました。最も強烈なご発言のひとつは、「省庁に報告しようと思って北大を見渡したときに、パッと顔と名前が思い浮かぶような教官が現在はいないではないか。」というものでした。北大にはこんなすごい先生がいますよ、と本庁に言えないというわけです。数年前ならば大塚栄子先生がいらしたわけですが、現在、大塚先生に匹敵する方がどなたかいらっしゃいますか?というわけです。これには出席した教官一同が沈黙でした。その他には、「時限付きで研究を進めなさい。そうすれば、驚くほどの成果が上がります。」というものがありました。このような発想は企業の論理だと簡単に切り捨てられないのが、現在の多くの大学人の偽らざる感想だと思います。

以上のように、第1回目の諮問委員会では外部の方々との意見交換の口火を切る、という使命は果たせたと思います。近い将来、第2回目が行われると思いますが、この第1回目の成果の上にどれだけのものを積み上げることができるのか、大変楽しみです。

(諮問委員会WG: 生物科学専攻 伊藤悦朗)



長田研究科長による趣旨説明



諮問委員会の方々



諮問委員会委員を囲んで理学研究科関係者

理学研究科寄附講座「糖鎖精密化学講座」開設式の開催

平成15年4月1日、理学研究科生物科学専攻に設置された寄附講座「糖鎖精密化学講座」の開設式、記念講演会及び懇親会を5月20日（火）午後3時から5号館低層棟2階大講堂及び6号館1階ホールにおいて挙行されました。

開設式、記念講演会及び懇親会には、中村総長をはじめ井上、佐伯、長田の各副学長及び岡田研究科長等の学内関係者並びに日立ハイテクノロジーズ増山正穂理事、理化学研究所小川智也副理事長等学外関係者が出席されました。

開設式では西村紳一郎教授の司会で中村総長及び岡田研究科長の挨拶が行われ、続いて中村総長から感謝状の贈呈があり、その後、同講座の概要及びスタッフの紹介が行われました。

記念講演会では「21世紀のポストゲノム研究における糖鎖科学」と題し理化学研究所小川智也副理事長と「北大のライフサイエンス研究戦略」と題した長田義仁副学長の講演が行われました。

引き続き、懇親会では長田副学長、増山理事の挨拶、野村薬学研究科長及び高橋触媒化学研究センター長等来賓のスピーチがあり寄附講座の開設を祝いました



挨拶をする岡田研究科長



感謝状を贈呈

* 寄附講座「糖鎖精密化学講座」の紹介

本講座は（株）日立ハイテクノロジーズからの奨学寄附金により設置されたもので、開設期間は平成15年4月1日から平成20年3月までの5年間の予定です。5月より北大北キャンパス内に建設された“次世代ポストゲノム研究棟”の5階に移転し、2名の客員助教授と学部4年生（2名）、さらに、同研究棟内の生体高分子設計学講座3（西村研究室）や医学部との連携の下で本格的に研究、教育をスタートいたしました。

人遺伝子（ゲノムシーケンス）の完全解読により、生体内タンパクの構造や機能解明に向けたプロテオーム解析が、今や大きな脚光を浴びております。しかし、その多くには糖鎖が結合しており、糖鎖の機能解明なくしてプロテオーム解析も終わらないといわれています。また、最近のライフサイエンス研究により、細胞間、細胞と細菌・ホルモン・毒素間の情報伝達やタンパク質の機能制御に、糖鎖が深いかかわりをもっていることが明らかになるにつれ、糖鎖の機能とその挙動を詳細に解明することは、複雑な生命現象の理解のみならず、色々な病気の診断や創薬等の応用研究にも直結するものと期待されています。

ハイスループットなDNAシーケンサーの開発や昨年度のノーベル化学賞の対象となった質量分析計におけるソフトなイオン化法（ESI, MALDI）の開発が、ゲノム、プロテオーム解析の研究を大きく加速したのと同様に、糖鎖研究においても分析機器の果たす役割は大きいと思われます。また、糖鎖研究は今や欧米と激しく競合しており、基礎・応用研究同時進行で行う必要があります。従って、“実学”重視を建学の精神とする北大と理化学機器や臨床検査装置の製造・販売をしている（株）日立ハイテクノロジーズとの連携で設立された本講座の使命と役割は大きく、またその成功は今後の産学連携の推進にも寄与するものと期待されています。北大の関係する他の部局と緊密に連携、協力しながら、糖鎖解析や糖鎖分析の新しい方法の確立とその装置化、更にはその応用としての糖鎖臨床診断を目指した実用化研究を推進して行きたいと思っています。また、ビジネスマインドを

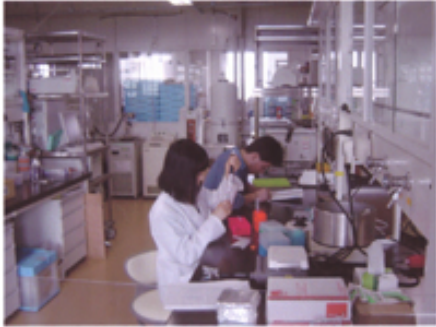
持った研究者の育成を図って行きたいと考えています。



中川裕章 客員助教授



出口喜三郎 客員助教授



5階実験室

日本発生生物学会第36回大会が開催される

去る6月11日から13日にかけて、表記日本発生生物学会第36回大会が開催されました。会場は新築（6月1日から営業開始）になったばかりの「札幌コンベンションセンター」。理学研究科の会員を中心に準備委員会が構成され新緑の札幌に全国の会員を迎えました。これまで札幌（北大）では、2回の大会が開催されていますが、今回は前回から数えて14年目、久しぶりの大会でした。この14年間に世界の発生生物学は大きく発展し、分子生物学・細胞生物学・遺伝学・進化論など多くの学問分野を包括した総合的な学問となってきました。そのため日本発生生物学会も、会員1500人という比較的大きな学会となり、今回の参加者も若手研究者を中心に700人とかなり大きな大会となりました。

シンポジウム2テーマ（うち市民公開シンポジウム一件）、ワークショップ2件の他一般講演370題（ポスター発表・口演発表）があり、学問的にも密度の高い大会となりました。最終日に開催された市民公開シンポジウム「幹細胞・クローン動物研究と社会的課題」は、札幌市教育委員会・北海道教育委員会・北海道新聞社・札幌国際プラザの後援をいただき、盛大に開催されました。その公開シンポジウムには、多くの市民を交え約600人の参加があり、最近マスコミにも頻繁に登場している問題「幹細胞からの再生医療の現状、クローン動物の作出とその問題点、先端科学と社会問題」について専門家から詳しい講演があり、その後市民からの率直な意見が述べられ、科学者・専門家と市民および行政の積極的な意見交換・交流が是非とも必要であることが指摘されました。

21世紀COEプログラム全国7拠点参加によるポジウム開催

理学研究科低層棟大講義室において、本学21世紀COEプログラム「バイオとナノを融合する新生命科学拠点」の主催により、「21世紀COE若手研究者ネットワークシンポジウム-全国7拠点ポリマー関連研究との融合-」が平成15年7月4日（金）に開催されました。今回はバイオとナノの架け橋となる材料として高分子材料に焦点を絞り、全国の21世紀COEプログラムで研究している新進気鋭の若手高分子研究者をお招きして講演していただくことで、全国レベルの若手研究者ネットワークの形成を目指そうとするものです。

プログラムは長田義仁拠点リーダーの開会の辞に始まり、全国7つのCOE拠点からの招待講演者7名、ならびに主催COEから門出健次、出村誠、グン剣萍、（理学研究科生物科学専攻）、居城邦治（電子科学研究所）の組織委員4名、計11名の講師によってバイオサイエンスとナノテクノロジーの最先端の研究が紹介され、全国のCOE拠点が推進するポリマー関連研究との融合を題材に活発な質疑応答が行われました

（<http://coe3.sci.hokudai.ac.jp/sympo/7-4/2003-7-4.htm>）。

当日は約160名(北大132名、道内研究機関・企業等19名、道外研究機関8名、外国1名)の方々に参加いただきました。開催に当たり、御協力いただいた皆様はこの紙面をお借りして感謝申し上げます。



開会の辞 拠点リーダー



招待講演者の熱弁



会場の熱心な質問

北海道大学大学院理学研究科技術報告(第12号)を刊行される

北海道大学大学院理学研究科技術報告(第12号)が刊行されました。この報告書は、昨年11月12日、13日の両日に実施された、本研究科技術部技術職員研修(第12回)における講義の内容及び研究・技術発表を中心に、第45回日本岩石鉱物特殊技術研究会総会・研究討論会報告等が掲載されております。

なお、本報告書は理学部中央図書室に配架されております。

平成16年度大学院理学研究科入学試験について

本研究科では、平成16年度修士(博士前期)課程及び博士後期課程入学試験を下記のとおり行います。
なお、本年度の願書受付期間は、7月1日(火)～7日(月)までで、すでに終了しています

1. 入学試験日
平成15年7月29日～31日

2. 学生定員

	修士(博士前期)課程	博士後期課程
数学専攻	46名	22名
物理学専攻	39名	19名
化学専攻	48名	23名
生物科学専攻	45名	22名
地球惑星科学専攻	38名	18名
合計	216名	104名

平成16年度理学部物理学科第3年次編入学学生募集について

本学部では、平成16年度物理学科第3年次編入学学生募集を下記のとおり行います。
なお、本年度の願書受付期間は、7月1日（火）～11日（金）までで、すでに終了しています。

記

1. 入学試験日 平成15年8月8日（金）
2. 募集人員 若干名

外国の研究機関との共同研究

理学研究科生物科学専攻（生物学）教授 馬 渡 駿 介

共同研究名

デーデルライン収集日本産無脊椎動物標本の研究

共同研究を行った研究機関・研究者職・氏名
フランス ルイ・パスツール大学
科学技術文化使節部長・教授
Hugues Dreyssé

研究期間

平成15年5月16日から6月9日

◆ 海外からの来訪者

期間：平成15年4月1日～6月30日

受入れ専攻等名>> [数学専攻](#) | [化学専攻](#) | [生物科学専攻](#) | [地球惑星科学専攻](#)

(受入れ専攻等名：数学専攻)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的
15.4.1～4.5	イギリス・Bath大学・ 講師・Gregory K.Sankaran	Abelian surfaces with odd bilevel structure"
15.4.14～4.17	イギリス・Bath大学・ 講師・Alastair King	The A-infinity Koszul Complex
15.5.9～5.14	アメリカ・ニュージャージ工科大学・ 教授・Vladislav Goldberg	「外微分式系への応用特異点論」に関する研究打ち合わせ "LINEARIZABILITY CRITERION FOR Ad-WEBS IN THE PLANE WITH APPLICATIONS"
15.6.22～7.4 (7.5-7.12はシドニー)	ポーランド・ワルシャワ大学・ 教授・Piotr Rybka	第5回国際研究集会「Industrial and Applied Mathematics」に出席し、「異方性と拡散による形態変化の数理解析」に関する研究打ち合わせ "Crystals growing from supersaturated vapor:properties of the evolution model"
15.6.24～6.30	韓国・ソウル国立大学・ 教授・Chong Han	研究打ち合わせ

(受入れ専攻等名：化学専攻)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的
15.4.21	中国・廈門大学化学科・ 教授・Cheng Xuan	表敬訪問

(受入れ専攻等名：生物科学専攻)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的
15.5.1～7.29	インドネシア・インドネシア科学院生物学研究センター-動物学部門昆虫研究室・ 研究員・Sri Hartini	論博プログラムによる研究者として研究指導を受ける事
15.6.12～8.8	イギリス・ロンドン自然史博物館・古生物学部門無脊椎動物・植物部・ 部長・Paul D.Taylor	ウスコケムシMicroporellaの系統分類に関する共同研究実施
15.6.29～7.23	韓国・Woosuk大学・ 教授・Jieun Seo	海産苔虫動物の分類学的研究

15.5.10～5.13	チェコ・チャールズ大学・ 教授・ヒネック・ピーダーマン	「ゲルの表面摩擦」について、研究打ち合わせ、情報交換
15.6.29～7.6	フランス・物理化学工業大学・ 研究ディレクター・ イリアス・イリオパウロス	「ゲルの機能」について、研究打ち合わせ・ 情報交換

(受入れ専攻等名：地球惑星科学専攻)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的
15.4.1～16.1.30	ブルガリア・ブルガリア国立科学アカデミー・地球物理学研究所・教授・ Ivan Stefanov KUTIEV	宇宙天気研究
15.6.4	ロシア・ロシア科学アカデミー地質学研究所・副所長・ 教授・ Yu.B.Gladenkov	「国際学術研究」による、カムチャッカ半島調査に関する研究調査打ち合わせ、研究討論

[<< Back to TOP](#)

[Next Page >>](#)

◆ 名誉教授称号授与

元物理学専攻凝縮系物理学講座	徳 永 正 晴教授
元化学専攻分子構造化学講座	小 中 重 弘教授
元化学専攻生命分子化学講座	谷 口 和 彌教授
元化学専攻分子変換化学講座	辻 孝教授

本年3月31日限り定年により退官された3教授並びに4月30日限り副学長の任期満了により定年退職した徳永教授に対し、4月1日並びに5月1日付けで本学名誉教授の称号が授与され、6月6日事務局大会議室において称号授与式が行われました。

◆ 学位授与

平成15年6月30日学位授与者(2名)

(課程博士)

勝田 長 貴(地球惑星科学専攻)

縞状堆積物の解析手法の開発と先カンブリア代縞状鉄鉱層への応用

Developments of analysis methods for striped pattern of laminated sediments and its application to Archean Banded Iron Formation

(主査：岡田 尚武教授)

(論文博士)

樋口 証(数学専攻)

A hypergraph rewriting language and its semantics

(主査：辻下 徹教授)

◆ 新任教官紹介

こう だ とし あき
幸 田 敏 明

(生物科学専攻(次世代ポストゲノム研究担当)教授)

(平成15年6月16日転入)



最終学歴：昭和59年5月北海道大学大学院医学研究科病理系博士課程中退、学位：「医学博士」、

略歴：昭和59年5月北海道大学免疫科学研究所助手、昭和63年7月米国スクイブ医学研究所分子生物部研究員、平成2年8月北海道大学免疫科学研究所助手、平成12年3月同研究所助教授、平成12年4月北海道大学遺伝子病制御研究所疾患制御研究部門助教授(免疫科学研究所改組による異動)、

専門分野：免疫学、分子生物学、細胞生物学

◆ 訃報

名誉教授 佐々 保雄氏（享年96歳）

名誉教授（元理学部教授）佐々保雄氏は、病氣療養中のところ平成15年5月16日（金）午後7時22分、ご逝去されました。
ここに謹んで哀悼の意を表します

名誉教授 三本木 孝氏（享年66歳）

名誉教授（元理学研究科長・理学部長）三本木孝氏は、病氣療養中のところ平成15年6月10日（火）午前7時59分、ご逝去されました。
ここに謹んで哀悼の意を表します。

◆ 人事異動

平成15年4月30日付け発令

(定年退職)

物理学専攻凝縮系物理学講座教授

徳永正晴

平成14年5月1日付け発令

(兼任)

副学長

任期は平成17年4月30日まで

生物科学専攻生体高分子設計学講座教授

長田義仁

理学研究科長, 理学部長, 評議員

任期は平成17年4月30日まで

地球惑星科学専攻地球惑星進化科学講座教授

岡田尚武

評議員

任期は平成15年5月31日まで

生物科学専攻系統進化学講座教授

片倉晴雄

(採用)

生物科学専攻COE研究員

高嶋聰

平成14年5月18日付け発令

(退職)

附属地震火山研究観測センター講師(研究機関研究員)

本多亮

平成14年6月1日付け発令

(兼任)

評議員

任期は平成17年5月31日まで

物理学専攻電子物性物理学講座教授

伊土政幸

評議員

任期は平成17年5月31日まで

生物科学専攻系統進化学講座教授

片倉晴雄

(採用)

生物科学専攻科学研究支援員

野田菜摘子

平成14年6月9日付け発令

(採用)

庶務掛事務補助員

浅沼貴恵

平成14年6月16日付け発令

(転入)
生物科学専攻 (次世代ポストゲノム研究) 教授
遺伝子病制御研究所疾患制御研究部門助教授から

幸 田 敏 明

(採用)
生物科学専攻事務補佐員

嘉多山 幸

平成 1 4 年 6 月 2 3 日付け発令

(採用)
生物科学専攻事務補佐員

櫛 引 咲 穂

平成 1 4 年 6 月 3 0 日付け発令

(辞職)
生物科学専攻技術補佐員

工 藤 淑 永

平成 1 4 年 7 月 1 日付け発令

(採用)
生物科学専攻事務補佐員
生物科学専攻 C O E 研究員
生物科学専攻技術補助員
生物科学専攻技術補助員

工 藤 淑 永
長 尾 一 生
工 藤 里 美
村 井 博

平成15年度研究科・学部内各種委員会委員

平成15年6月現在 No.1

◎ 委員長(責任者)

専攻等名 委員会名	数学専攻	物理学専攻	化学専攻	生物科学専攻		地球惑星科学専攻		その他	備考
				生物学	高分子機能学	地球惑星物質科学	地球物理学		
専攻長・学科長会議	新井朝雄	加藤幾芳	佐々木陽一 澤村正也	山下正兼	川端和重	鈴木德行	林祥介	◎研究科長、両評議員	任期1年 16.3.31 上段は専攻長・学科長 下段は専攻委員・学科委員
点検評価委員会	新井朝雄	加藤幾芳	佐々木陽一、澤村正也	山下正兼	川端和重	鈴木德行	林祥介	◎研究科長、両評議員	専攻長・学科長及び専攻委員・学科委員が委員
将来計画委員会	津田一郎	河本昇	喜多村昇、鈴木孝紀	山下正兼	川端和重	蒲生俊敬	渡部重十	◎研究科長、両評議員 センター 岡田弘	任期2年 16.3.31
予算委員会	新井朝雄	加藤幾芳	佐々木陽一、澤村正也	山下正兼	川端和重	鈴木德行	林祥介	◎評議員(伊土) 地震火山研究観測センター長	任期1年 16.3.31
教務委員会	山下博	石川健三	武田定、矢澤道生	山口淳二	新田勝利	小笹隆司	見延庄士郎	◎全学教務委員会委員(山口)	任期1年 16.3.31
学生委員会	松下大介	野崎龍介	坪井泰之、江川徹	長山俊樹	芳賀永	角皆潤	小山順二	◎評議員(片倉) 副委員長:(全学)学生委員会委員(加藤)	任期1年 16.3.31
図書委員会	儀我美一	羽部朝男	八木一三、谷野圭持	小亀一弘	龔劍萍	沢田健	前田 丞	◎(全学)図書委員会委員(儀我)	任期1年 16.3.31
災害対策委員会	島田伊知朗	小池和幸	及川英秋、伊藤肇	高田泰弘	佐々木直樹	沢田健	遊馬芳雄	◎評議員(伊土)	任期1年 16.3.31
広報委員会	神保秀一	鈴木久男	坂口和靖、分島亮	堀口健雄	出村誠	川村信人	森谷武男	◎評議員(片倉)	任期なし
情報ネットワーク委員会 (全学委員)	松本健司	末廣一彦 *加藤幾芳 羽部朝雄 根本幸児	野呂武司	柄内新	姚 関	倉本 圭		◎(全学)学術情報委員会情報ネットワーク 専門委員会委員(渡部) センター 西村裕一	任期1年 16.3.31
			*田中 皓				*見延庄士郎		任期2年 16.3.31
放射線障害予防安全委員会		天谷健一	◎今川敏明	*稲辺保 加藤敦之 *安東宏徳	渡邊信久	三浦裕行		◎今川敏明	任期1年 16.3.31
放射線取扱主任者			今川敏明	代理)安東宏徳					任期なし
放射線取扱主任者補佐			矢澤道生、嘉屋俊二	加藤敦之 高田泰弘					任期なし
エックス線取扱主任者			稲辺保						任期なし
国際規制物質計量管理責任者		熊谷健一							任期なし
技術部運営協議会		◎熊谷健一	井川駿一	新倉謙一		知北和久		◎委員の互選 (候補)小嶋山守男、櫻 龍巳、宮崎信彦、桑島豊明、岡山宗夫、佐藤久志	任期1年 16.3.31
地震火山研究観測センター 運営委員会						鈴木德行 宇井忠英	西田泰典 林祥介	◎岡田弘 島村英紀 笠原 稔 茂木 透	任期1年 16.3.31
創基125周年記念事業 部局史編集委員会	石川剛郎	◎石垣壽郎 市川瑞彦	矢澤道生	片倉晴雄	新田勝利	在田一則	播磨屋敏生		任期なし
有害廃液管理責任者			喜多村昇					補助者 会計掛長	任期なし
端末責任者	行木孝夫	市村晃一	野呂武司	柄内新	姚 関	沢田 健			任期なし

	数理系(15組)	物理系(16組)	物理系(17組)	化学系(18組)	化学系(19組)	生物系(20組)	その他	備考
クラス担任	泉屋周一	角皆潤	北孝文	◎澤村正也	新田勝利	山口淳二	◎クラス担任の理学部代表教官	任期1年 16.3.31
クラス副担任	立澤一哉	渡部重十		稲辺保		清水隆		任期1年 16.3.31

平成15年度全学各種委員会委員名簿

◎ 委員長 * 研究科での選考必要なし

平成15年4月現在 No.2

委員会名	専攻等名	数学専攻	物理学専攻	化学専攻	生物科学専攻		地球惑星科学専攻		その他	備考
					生物学	高分子機能学	地球惑星物質科学	地球物理学		
評議会			伊土政幸		片倉晴雄					
教務委員会		山口佳三							研究科長	任期2年 17.5.31
教務委員会教職課程専門委員会		斉藤 睦							研究科長	任期2年 17.3.31
教務委員会留学生教育専門委員会										任期2年 17.3.31
教務委員会教務情報システム専門委員会		*山口佳三				出村 誠				任期2年 17.3.31
高等教育機能開発総合センター全学教育委員会			小野寺 彰							15.5.25~ 任期2年 17.3.31
高等教育機能開発総合センター全学教育科目責任者	「数学」 山下 博	「科学・技術の世界」 杉山滋郎 「物理学」 河本 昇	「化学」 日夏幸雄 「環境と人間」 稲辺 保	「生物学」 栢内 新			「地学」 「教養科目」 新井田 清信			任期2年 17.3.31
高等教育機能開発総合センター高等教育開発研究委員会								知北 和久		任期2年 17.3.31
学生委員会						加藤 敦之				任期2年 16.3.31
学生委員会				田中 皓						任期なし
インターンシップ専門委員会										
入学者選抜委員会									学部長	官職指定
入学者選抜制度調査委員会	「数学」山下 博 「数学(代理)」前田芳孝	(代理)石垣壽郎	喜多村 昇			「理科(代理)」 川端 和重		(理)池田隆司	(総長委嘱) 数)中村 郁	任期2年 16.3.31 (17.3.31)
大学入試センター試験・第二次入学試験実施委員会総務部会		中原純一郎								任期2年 16.3.31
北海道大学AO入試委員会				魚崎浩平 17.3.31	山口淳二 16.3.31		小笹隆司 16.3.31			任期2年
北海道大学入学相談室				喜多村 昇			小笹隆司			任期なし
高等教育機能開発総合センター入学者選抜企画研究委員会							小笹隆司			任期2年 16.5.31
学術情報委員会				田中 皓						任期2年 17.3.31
学術情報委員会情報ネットワークシステム専門委員会		*加藤幾芳						渡部重十		任期2年 17.3.31
学術情報委員会情報ネットワークシステム専門委員会システム統括部会		*加藤幾芳	*田中 皓							任期2年 17.3.31
学術情報委員会情報ネットワークシステム専門委員会システム統括部会								倉本 圭		任期2年 17.3.31
学術情報委員会スペース・コラボレーション・システム事業専門委員会	吉田知行									任期2年 17.3.31
学術情報委員会データベース専門委員会	津田 一郎									任期なし
学術情報委員会ネットワークセキュリティポリシー策定全学ワーキンググループ		羽部朝男	田中 皓							検討・立案作業終了まで
学術情報委員会ネットワークセキュリティポリシー原案作成作業グループ			田中 皓							検討・立案作業終了まで
研究推進委員会										
研究推進委員会発明専門委員会						出村 誠				任期2年 16.9.30

専攻等名 委員会名	数学専攻	物理学専攻	化学専攻	生物科学専攻		地球惑星科学専攻		その他	備考
				生物学	高分子機能学	地球惑星物質科学	地球物理学		
研究推進戦略会議				*高橋孝行				*研究科長	任期 16.3.31
新世紀重点研究創生プラン (RR2002)調整会議				ライオンズ分野 高橋孝行	ナカハジメー期購 川端和重	環境分野 蒲生俊敬	情報通信分野 林祥介	防災(副専任) 岡田弘	任期なし
点検評価委員会								研究科長	官職指定
点検評価委員会幹事会								研究科長	任期なし
点検評価委員会教員業績評価専門委員会			*佐々木陽一						任期1年 16.3.31
知的財産本部設置準備委員会								研究科長	任期なし
情報公開委員会			宮下正昭						任期2年 17.3.31
情報基盤センター 全国共同利用委員会		根本幸児							任期2年 17.3.31
施設・環境委員会施設計画専門委員会 施設有効活用推進部会	林実樹廣								任期2年 16.6.30
施設・環境委員会施設計画専門委員会 埋蔵文化財調査検討部会						中川光弘			任期なし
安全・防災委員会								研究科長	官職指定
安全・防災委員会安全対策専門委員会			澤村正也					研究科長	任期2年 17.3.31
安全・防災委員会 放射性同位元素等管理専門委員会			今川敏明 ~17.3.31	加藤敦之 ~16.3.31					任期2年
安全・防災委員会 組換えDNA実験安全専門委員会				加藤敦之					任期2年 16.3.31
安全・防災委員会 病原性 微生物等安全管理専門委員会				*高田泰弘					任期2年 16.3.31
組換えDNA実験安全主任者				高田泰弘					任期2年 15.11.27 (14.5.1~)
保健管理センター運営委員会			及川英秋						任期2年 17.3.31
環境保全センター運営委員会			澤村正也						任期2年 17.3.31
国際交流委員会			魚崎浩平						任期2年 17.3.31
国際交流委員会学術交流専門委員会			魚崎浩平						国際交流委員会から選考 任期同上
留学生センター留学生指導専門委員会		松永悟明							任期なし (留学生担当教官)
広報委員会広報誌「リテラ・ ポプリ」編集専門委員会									
広報委員会広報誌「リテラ・ポプ リ特別号」編集専門委員会							倉本圭 ~16.3.31	*島村英紀	任期14.6.1~16.3.31
高等教育機能開発総合センター 生涯学習計画研究委員会							小山順二		任期2年 17.3.31
高等教育機能開発総合センター 生涯学習計画研究委員会公開講座専門委員会		鈴木久男							任期2年 15.11.30
図書館委員会	儀我美一								任期2年 17.3.31
図書館委員会北分館委員会									
遠友学会企画運営委員会			今村平						任期2年 16.3.31
言語文化部共同利用委員会		河本充司							任期2年 17.5.31
低温科学研究所運営協議会						*岡田尚武			任期2年 17.4.30
低温科学研究所共同利用委員会							*遊馬芳雄		任期2年 15.9.30
キャンパス・マスタープラン96見直し						在田一則			(高等教育センター長の推薦)

専攻等名 委員会名	数 学 専 攻	物 理 学 専 攻	化 学 専 攻	生 物 科 学 専 攻		地 球 惑 星 科 学 専 攻		そ の 他	備 考
				生 物 学	高 分 子 機 能 学	地 球 惑 星 物 質 科 学	地 球 物 理 学		
触媒化学研究センター運営委員会			*魚崎浩平、*佐々木陽一						任期2年 魚崎16.6.9, 佐々木17.3.31
触媒化学研究センター協議委員会			*宮下正昭						任期2年 17.3.31
触媒化学研究センター点検評価委員会			*魚崎浩平、*宮下正昭						任期1年 16.3.31
アイソトープ総合センター運営委員会			矢澤道生						任期2年 16.6.30
アイソトープ総合センター利用者協議会				山下正兼					任期2年 15.11.30
機器分析センター運営委員会			鈴木孝紀						任期2年 17.4.30
量子集積エレクトロニクス研究センター運営委員会		中原純一郎							任期2年 17.3.31
エネルギー先端工学研究センター運営委員会		熊谷健一							任期2年 16.3.31
エネルギー先端工学研究センター 超高压電子顕微鏡研究室専門委員会						藤野清志			任期2年 17.3.31
高等教育機能開発総合センター 予算・施設委員会		伊土政幸							任期2年 17.3.31
高等教育機能開発総合センター 安全管理委員会		鈴木久男							任期2年 17.3.31
先端科学技術共同研究センター運営委員会					西村紳一郎				任期2年 16.3.31
先端科学技術共同研究センター運営委員会 遺伝子実験施設共同利用委員会				*鈴木範男 *山本興太郎					任期2年 17.3.31
先端科学技術共同研究センター運営委員会 生物実験施設共同利用委員会				*片倉晴雄 *山口淳二					任期2年 17.3.31
先端科学技術共同研究センター 外部委員会				鈴木範男					任期2年 17.3.31
加藤メディア・ラボラトリー(VBL)運営委員会		加藤幾芳							任期2年 16.3.31
総合博物館運営委員会				*増田道夫					任期2年 17.3.31 (局から) 増田教授は資料部長併任
総合博物館点検評価委員会				*増田道夫					任期2年 17.3.31
総合博物館資料部研究員				堀口健雄	在田一則、新井田清信 菊地武、川村信人 三浦裕行				任期1年 16.3.31
北方生物圏フィールド科学センター 運営委員会				片倉晴雄		藤野清志			任期2年 17.3.31
将来構想ワーキンググループ				片倉晴雄					評議員
創成科学研究機構運営委員会			*魚崎浩平						研究科長 任期2年 16.3.19
定員活用審査会									研究科長 任期なし
病原性微生物安全管理体制検討会				高田泰弘					研究科長 任期なし
創基125周年記念事業実行委員会									研究科長 任期なし
創基125周年記念事業実行委員会出版等専門委員会		石垣壽郎							任期なし(125年誌編集室員兼務)
クラーク記念財団評議員									研究科長 ~ 17.3.31

専攻等名 委員会名	数 学 専 攻	物 理 学 専 攻	化 学 専 攻	生 物 科 学 専 攻		地 球 惑 星 科 学 専 攻		そ の 他	備 考
				生 物 学	高 分 子 機 能 学	地 球 惑 星 物 質 科 学	地 球 物 理 学		
共同利用施設 理学研究科 高分解能核磁気共鳴装置 研究室運営委員会			宮下正昭、 鈴木孝紀、		◎新田勝利 出村 誠(~17.3.31) 龔 劍萍(~17.3.31)				任期2年 17.5.31
共同利用施設 理学研究科 エネルギー分光、波長分散蛍光X線分析研究室		小田 研	分島 亮、江川 徹			◎三浦裕行			任期2年 15.8.15
共同利用施設 理学研究科 極低温液化センター運営委員会		伊土政幸 ◎野村一成 網塚 浩			新田勝利				任期2年 16.3.31
共同利用施設 理学研究科 量子干渉方式広領域領域磁化測定研究室運営委員会		◎伊土政幸 網塚 浩	今村 平		佐々木直樹				任期2年 16.9.30
共同利用施設 医学研究科 超遠心機研究室運営委員会			矢澤道生						任期2年 17.3.31
共同利用施設 工学研究科 核磁気共鳴装置研究室運営委員会		熊谷健一	宮下正昭、井川駿一		新田勝利				任期なし
共同利用施設 工学研究科 理工系放射性同位元素総合研究室運営委員会			今村 平						任期2年 16.3.31
共同利用施設 工学研究科 全自動微小部分装置運営委員会						菊地 武			任期3年 17.3.31 (16.3.31まで)
共同利用施設 工学研究科 光電子分光分析研究室運営委員会			八木一三						任期3年 15.12.31
共同利用施設 工学研究科 高エネルギー超強力X線回折室運営委員会		小野寺 彰							任期2年 16.3.31
共同利用施設 工学研究科 汎用シュミレーター施設運営委員会								島村英紀 (地震)	任期なし
住 宅 委 員 会								人事担当専門職員	任期1年 16.3.31

◆ 行事予定

月	日	曜	事 項
7	1	火	修士(博士前期)課程及び博士後期課程願書受付(～7日)
	1	火	3年次編入学願書受付(～11日)
	23	水	全学教育部補講日(～25日)
	28	月	全学教育部第1学期授業終了
	29	火	全学教育部第1学期定期試験(～8月8日)
	29	火	夏季休業(～9月20日)
	29	火	修士(博士前期)課程及び博士後期課程入学試験(～31日)
8	1	金	第2学期授業時間割の提出締切
	4	月	北海道大学オープンユニバーシティ
	5	火	理学部体験入学(～7日)
	8	金	理学部(物理学科)第3年次編入学試験
	11	月	全学教育部第1学期追試験(～13日)
	11	月	全学教育部夏季休業(～9月30日(火))
	12	火	入学試験委員会10:30
	12	火	研究科教授会13:30
	12	火	修士(博士前期)課程及び博士後期課程入学試験合格発表15:00
	15	金	9月学位授与予定者の審査報告関係書類提出締切
	18	月	研究生・聴講生・科目等履修生願書受付(～23日)
	19	火	学位申請(9月付託)締切
	26	火	全学教育科目第1学期定期試験及び追試験成績提出締切12:00
	28	木	専攻長・学科長会議 13:30
9	4	木	入学試験委員会13:00

	4	木	研究科教授会13:30
	4	木	学部教授会15:30
	4	木	3年次編入学試験合格者発表16:00
	24	水	全学教育科目集中講義期間(～26日)
	24	水	学位申請(10月付託)締切
	24	水	大学院・学部専門科目補講・集中講義期間(～30日)
	25	木	学位記授与式
10	1	水	学部専門科目・全学教育部第2学期授業開始
	1	水	学部専門科目第1学期成績提出締切
	2	木	専攻長・学科長会議13:30
	3	金	修士(博士前期)課程及び博士後期課程二次試験実施の有無締切
	9	木	学部学生(2年次以上)履修届受付(～10日)
	9	木	研究科教授会13:30
	15	水	AO入試出願期間(～22日)
	16	木	国立10大学理学部長会議(東京)
	17	金	国立大学理学部長会議(東京)
	28	火	学位申請(11月付託)締切